

ポリオの会 丸橋達也

ポリオ会、生ワクチン健康被害者代表 丸橋達也です、どうぞよろしくお願い致します。

今回はこのような検討会に参加させていただきありがとうございます。

まず私の生い立ちを簡単に紹介させていただきます。

昭和 40 年 9 月 19 日 東京都昭島市にて生まれ。

昭和 41 年 4 月 20 日 東京都昭島市にてポリオ生ワクチン投与（生後 7 ヶ月）

昭和 41 年 5 月 6 日 立川共済病院に緊急入院、検便にて生ワクと同型のウイルスが検出

ワクチンによるポリオと診断を受け隔離病棟に約 2 ヶ月間入院しました、退院後はほぼ毎日リハビリに通ったようです、

その後、東京小児療育病院にて補装具を作りリハビリを続けました。

松葉杖を使って歩行出来るまでに回復

「小児療育病院 病歴カルテに記載事項」

生後 8 カ月の時、発熱（38.2℃位）が3日間続き解熱したら左下肢に麻痺が残った。ひきつけはなかった。

現在、つかまり立ちとつたえ歩きが数歩出来るのみで身体の移動は膝をついてはっている

知能は普通（発熱の16日前にポリオの生ワクチンを飲んだ）

私は長い間、病気で医者に説明するたびに、ワクチンでポリオになった！？と驚かされてきました、ほとんどの医者がポリオの事知りません、もう終わった病気だと認識していました、「その被害は10万人に1人くらい出るとても珍しい病気なんだよ気の毒に」と言いました。私はその事が当たり前でつい数年前まで生きてきました。

しかしそれは私にある変化が起きて大きく変わる事になりました。

40歳を過ぎた頃から腰痛がひどくなり、筋力の低下など体調に今までにない変化が現れ、2005年4月 自宅にて転倒、右足の腓骨骨折をしてしまいました、私にとっては利き足である右足の骨折は致命傷で、そのまま入院となりました、その1年後には突然、頭の前から雷が落ちた様な痛みで襲われ動けない状態となり、あちこちの病院を回りましたが原因は不明、医者からは痛み止めの薬を処方されるだけのものでした。

何か情報を求めてインターネット調べていると、自分と同じ病気の患者の会、「ポリオの会」の存在を知りました。（2007年1月ポリオの会に入会）

代表の小山さんと出会いました、そこで初めて知ったポリオと言う怖い病気の事を、PPS (ポリオ後症候群、ポストポリオ症候群)

どこの医者に行ってもわからなかった事がわかった瞬間でした。会員の方の多くは自然株から感染したポリオの罹患者で私と違う事も初めて知りました。

私は聞きました、ポリオを防ぐはずのワクチンでなぜポリオになるんですか？

その答えは驚く物でした！

それが今も続いているのよと小山さんは悔しそうに話してくれました。しかもそうならない安全なワクチン、不活化ワクチンがあるのだと言いました。

私は単純に、ではなぜそれを使わないのか？との疑問から今私はここに来ています。

私には3人の子供がいます、長男は結婚していて子供もいます、

ポリオの会の会員の中には長男と同じ年頃の子、孫と同じ年頃の子がいます、先日は厚生労働省へ、一緒に不活化ワクチンへの切り替えを求める署名「ポリオ不活化ワクチンへの早急な切り替えに関する要望書」を提出に行きました。

【写真】 その時写真です。





私にとってはまさに息子であり孫と同じなんです。
なぜもっと早くに、私がこの事に気付き、行動出来なかったのか
悔しい思いでいっぱいなのです、
この子達もこの先、ポリオと言う病気と一生戦うのです、
それがどれだけ辛い事か私にはわかります。
私の母親が私が PPS で苦しんでいる時に、ごめんねと言って泣くんです、
親も一生戦うんです、親は一生責任背負って生きて行くのです。

ここに私の母親が作ってくれたアルバムがあります。



四十一平(五)日

素晴らしい始末の季節です。
楽しい一日です。その日は思ひ
もかたぬ運命が待っているとも思
えず。！。今こそ思ひ(お)こ
の時の暇が思ひ(お)こす(お)こす
子(お)こす(お)こす(お)こす。



四十一年五月九日から七日迄約二ヶ月の入院生活をしました。
その間悲しい思い出りましたが、看護婦さん達に可愛がられ人気者でした。
達也自身の記憶には残っていませんが、父にとっても母にとっても
一生忘れる事の出来ない悲しい時期でした。

親は我が子を守るためには命をかけて守るのが当たり前だと思います、今、生ワクチンは危険だと言う情報だけが一人歩きしている状況だと思います、個人の責任で不活化のワクチンを接種するかたが増えていると聞いています。

これは緊急事態だと思いませんか？

この検討会が私たちのこれ以上被害者を出したくないと言う思いのもと開催されているものだと信じています。

最後になりますが、世の中には生ワクチンの被害者と認定を受けていないで苦しんでいる方もたくさんいらっしゃいます。

国はこの生ワクチンの健康被害者に対して早急な救済制度をお願い致します、この問題は今回の趣旨と外れると思いますが、私たちから見れば同じ問題なので申し添えておきます。

別紙 詳しい資料をポリオの会の仲間達が作ってくれましたのでどうぞ目を通して下さい。

ご清聴ありがとうございました。